

企業誘致

学生による八王子への企業誘致 PR 活動

多摩東京大学生会

田村龍之介¹⁾, 柳田秀明²⁾, 西村啓志³⁾, 竹田将暉⁴⁾

指導教員 高永皓⁵⁾

- 1) 中央大学法学部 政治学科
- 2) 首都大学東京大学院 理工学研究科 物理学専攻
- 3) 創価大学経済学部 経済学科
- 4) 帝京大学教育学部 教育文化学科
- 5) 拓殖大学客員研究員・韓国統一振興院専任教授

キーワード：地域創生・雇用・経済・企業誘致

・政策提案

八王子へ企業を誘致するべきメリット、また八王子が取り組んでいる企業誘致政策を学生の力でPRしていく。多摩東京大学生会では今年6月に第1回の市政討論会を開き、より魅力ある八王子を目指して議論した。八王子には雇用先となる企業が少なく若者が流出するということが大きな問題となる中で、根本的に企業を外部から誘致するべきであるとの案が出た。これを基に、企業誘致に関して調査・研究を行う企業班が新たに組織された。ここでは我々企業班の調査結果やこれからの方針について述べさせて頂く。

八王子市は平成27年4月より地方中核都市となり、多摩地域の政治・経済の中心都市として新たな出発をした。メインターミナルであるJR八王子駅北口のマルベリーブリッジを囲む高層ビル群がその繁栄を表している。しかし、東京23区の面積の3分の1の広さを有する八王子の人口は未だ57万人である。100万人が政令指定都市の基準であり、隣の相模原市や全国の名立たる地方都市に比べると八王子市には更なる成長が望まれる。また、八王子は学生が多い学園都市であるが、彼らの多くは学業を終えると同時に他の地域に流出してしまう。我々

はここで雇用を増大し、経済的発展をすることでこの八王子をより魅力ある街にしたいと決意した。外部の大企業やベンチャー企業を積極的に誘致することで生産年齢人口を取り込み、その方々をターゲットにしたビジネスが活発に行われるようにしていきたい。

・八王子の企業にとってのメリット

- (1) 都心に比べて地価がかなり安く、低コスト
- ・他市区間地価比較

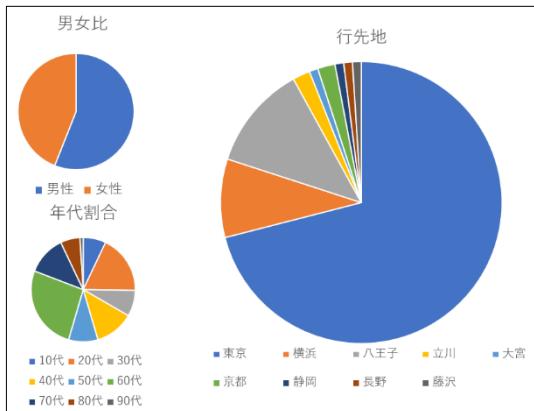
中央区	551万3904円/m ²	1822万7784円/坪
千代田区	513万5088円/m ²	1697万5500円/坪
港区	306万5478円/m ²	1013万3812円/坪
三鷹市	49万2810円/m ²	162万9125円/坪
町田市	23万3136円/m ²	77万697円/坪
八王子市	15万5461円/m ²	51万3923円/坪

・市内地価比較

京王八王子	58万9666円/m ²	194万9311円/坪
八王子駅	43万0444円/m ²	142万2956円/坪
京王堀之内	17万2972円/m ²	57万6108円/坪
地点別		
旭町2-6	250万円/m ²	826万4462円/坪
明神町3-20-5	151万円/m ²	499万1735円/坪
東町7-4	115万円/m ²	380万1652円/坪
裏高尾町1876番外	732円/m ²	2419円/坪
上恩方町4726番外	635円/m ²	2099円/坪

- (2) 地盤が安定していて地震に強い
- (3) 製品開発型の企業や高度な加工技術力を持つ企業が多数集積している
→近隣で発注・外注・開発の連携が可能
- (4) 交通の便：建設中の八王子南バイパス 北

野・高尾山 I C 間（圏央道へ）
町田街道から国道 20 号までの区間で一部開通した
また、松本・甲府方面に特急電車・高速バスが通っているが、松本・甲府地域の住民は買い物をするために八王子を通過し、横浜方面や、新宿方面へ流れて行ってしまっていると考えられる。八王子に買い物できる場所が増えれば、わざわざ横浜、新宿までいかず、八王子で済ませられるようになるはずである。そこで我々は甲府駅で街の人々に実際にアンケート調査をしてみた。結果は以下のとおりである。



(5) 企業立地支援条例

事業施設を新設・拡張、設備の増設をした事業者に対して、固定資産税・都市計画税・事業所税相当額を 3 年間奨励金として交付される。

・地方創生への発展

もの・人・企業、あらゆるもの東京一極集中が進み、中央では公害や騒音問題、交通渋滞などが起り、はたまた地方では過疎化が問題になり、地方消滅がささやかれている。八王子への企業誘致が成功した結果八王子が発展すれば、「地方創生」のモデルとして全国に発信できるのではないか。

・ハローワークと商工会議所への調査

また、企業誘致についてハローワーク及び商工会議所へ調査を行ったところ、どちらとも企業誘致には消極的な様子であった。特に大規模

な製造を行う企業の誘致に抵抗がある様子である。この二つの部署は既存の企業へ配慮が要されるから企業誘致に消極的なのであると考えられ、他のアクターによる積極的な推進が必要である。

・シャープ亀山工場の成功

過去の成功例に三重県亀山市のシャープ亀山工場がある。今や「世界の亀山」としてブランド化されるまで至った。新規に 7200 人を雇用し、県税は 110 億円増した。この誘致は県知事によるトップセールスや手続きの企業立地課への一本化によるワンストップサービス、総額 135 億円の補助金や県職員・シャープ社員合同の勉強会等の手法により実現した。我々としては、ある特定の企業だけでなく多くの企業に八王子に進出してもらえるようにしたい。

・学生による市政討論会

更に、9 月には多摩東京大学生会で市政討論会を開き、我々企業班としては参加者に様々な企業誘致の手法等におけるアイディアを考えもらった。八王子にグローバル社会の起点としての空港やプロのスポーツチームのための練習場、自然を活かしたテーマパークを造ったり、学生用のマンションに卒業後も住める制度を導入したりなどのアイディアが出た。学生らしい夢のある案であり八王子の魅力をさらに高めていくことのできる案だが、現状ではその実現は難しいと思われる。まずは八王子の魅力を多くの人に伝えていく必要がある。

・学生による八王子 PR 活動

この企業誘致なる試みを成功させるためにはまずは多くの人に八王子の魅力について知ってもらう必要がある。そこで我々が注目したのは、今波に乗っている SNS である。具体的には twitter を用いて特に大企業をフォローして、実際に支店の進出先等に八王子を選んで頂くことやベンチャー企業に八王子で起業して頂くことを狙いとする。英語で発信することで海外の企業へもアピールしていくことを考えている。